



日本骨髄バンクの現状（2018年2月末現在）

	1月	2月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,021	2,570	483,724	728,971
患者登録者数	250	211	3,740	53,163
移植例数	91	103	—	21,682

■2月年代別ドナー登録者数（現在数）

10代 4,279人

20代 72,185人

30代 137,919人

40代 207,436人

50代 61,905人

■2月の20歳未満の登録者 278人

■2月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／975人、献血併行型集団登録会／1,513人、集団登録会／22人、その他／60人

■2月末までの末梢血幹細胞移植（PBSCT）累計数：448件

注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 患者負担金引き下げの検討について

当法人では患者負担金の軽減を継続的に検討してきましたが、このたび骨髄バンクを利用する際にご負担いただく患者負担金のうち、「患者HLA確認検査料（SBT法）」43,200円を本年4月から無料にする方向で検討しています。

最終決定は3月29日（木）開催の通常理事会となります。改定金額と詳細については3月30日（金）に当法人ホームページで公表します。

2 「チャンス」改訂版発行のお知らせ【2018年4月から順次運用開始】

前号でお知らせのとおり、ドナー登録のしおり「チャンス」の改訂版を4月に発行します。今回の主な改訂点は、改正個人情報保護法への対応をはじめ、非血縁者間の末梢血幹細胞提供の健康被害例のデータなどが盛り込まれています。新しい「チャンス」は、4月上旬以降、各地の登録受付窓口配布し、順次運用を開始します。

都道府県および各自治体、骨髄バンク地区普及広報委員・説明員、ボランティア団体の皆さまには、4月初旬に参考用として「チャンス」改訂版（1部）および改訂一覧表を別途お送りします。

なお、改訂版の発行後は、新旧の混在を避けるため、お差し換えのうえ旧版を廃棄していただきますようお願いいたします。

3 ドナー助成制度の自治体が323に

「骨髄バンクを介して骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度」が新たに下記の自治体でスタートしました。これまでに導入した市区町村は全国で323になります。

なお、助成内容は各自治体によって異なりますので直接お問い合わせください。

当法人ホームページにお問い合わせ先一覧を掲載しています。[HOME>ドナー登録されている方へ>骨髄・末梢血幹細胞の提供までのながれ>提供ドナー助成制度を導入している地方自治体・民間団体]

■新たに導入した自治体：瑞穂町（東京都西多摩郡）

4 ミュージカル「明日への扉」公演の滋慶学園グループへ感謝状贈呈

骨髄移植推進キャンペーンミュージカル「明日への扉」を公演する学校法人滋慶学園グループの系列校の卒業式が3月7日～20日に大阪、福岡、名古屋、東京、仙台、札幌で行われます。「明日への扉」は、同グループ系列校・大阪スクールオブミュージック専門学校による1994年の初演を皮切りに毎年上演され、公演やご寄付を通じて長年にわたり骨髄バンクを支援していただいています。各卒業式会場では、卒業生から寄付金の贈呈があり、当法人から卒業生の代表に感謝状をお渡しします。

5 非血縁者間骨髄採取施設の認定について

下記の施設が新たに非血縁者間骨髄採取施設として認定されました。

- 東京都済生会中央病院

これにより骨髄採取認定施設数は182施設となりました。新規認定施設は、当法人ホームページでもご覧いただけます。

[HOME>患者さんへ>移植認定病院、およびドナー登録されている方へ>面談施設一覧]

6 当法人の会議等開催予定

会議の傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申し込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
通常理事会	公開・一部非公開	3月29日（木）17時半～19時半 廣瀬第2ビル地下会議室
業務執行会議	公開・一部非公開	4月27日（金）17時半～19時半 廣瀬第2ビル地下会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

7 開始ドナー人数増加とコーディネートルール変更について

前号でお知らせのとおり、4月から初回ドナー確定時に最大10名のドナーのコーディネートを開始できるようになります。これに伴い、患者保留期限とドナー選定期限を変更します。

また、ドナーの負担軽減を図るため、骨髄バンクのコーディネート中に他の移植を実施した場合、ドナーのコーディネートは終了します。詳細は下記をご確認ください。

1. 患者保留期限とドナー選定期限について

(1) 変更点

- 患者保留期限（ドナーを確保したままコーディネートの進行を止めること）
[現行] 90日間 → [新] 60日間
- ドナー選定期限（ドナー確認検査の適格性判定日からドナー選定までの回答期限）
[現行] 60日間 → [新] 40日間

(2) 開始日：2018年4月3日（火）

(3) 対象

- 患者保留：コーディネート保留受付をした患者
- ドナー選定：確認検査結果の判定が適格となったドナー

(4) 変更理由

- ・1人の患者が確保するドナー人数がこれまでより増える可能性があることから、他患者への影響を防ぐため。
- ・長期間拘束されるドナーの負担軽減を図るため。

※ただし、具体的な目途が立っている場合や止むを得ない事情がある場合は、移植調整部までご連絡ください。

[次ページへ続く]



[前ページの続き]

2. 臍帯血移植、血縁者移植など他移植を実施した場合のコーディネートについて

骨髄バンクのコーディネート中に他の移植を実施した場合は「停止」※ または「取消」になります。該当する場合は速やかに移植調整部までご連絡ください。

コーディネート停止：進行中のドナーは全員終了し、患者登録は継続のままドナー検索を止めること（最長1年）

8 「コーディネートのお知らせ（適合通知）」ほかの変更 <コーディネーターの方へ>

「移植最適時期での採取をめざす取組み」の一環として、ドナーへの「採取施設」の説明と対応方法を変更したことに伴い、3月1日から下記の帳票を変更しました。

詳細は第22回コーディネーターブラッシュアップ研修会資料をご確認ください。

- ・「コーディネートのお知らせ（適合通知）」
- ・「こちらをはじめにお読みください（ドナーへの大切なお知らせ）」
- ・「確認検査面談時のご案内」の同封書類
- ・「確認検査面談報告書」

「こちらをはじめにお読みください」は、旧「問診票にご記入いただく前に必ずお読みください」を改訂したものです。ドナーの方に、できるだけ早く開始シートをご返送いただけるように、お知らせが届いてから確認検査までの流れを示しました。また、「採取施設」に関する項目のほか、必要な説明を追加、整理しました。調整医師、コーディネーターの方へ、今月号に同封して本紙をお送りします。

9 「ドナーのためのハンドブック」（第4版第2刷）発行のお知らせ【予告】

本年4月から初回確定ドナー増加（5人から10人）の本格運用が開始されることに伴い、「ドナーのためのハンドブック」を一部改訂し、第4版第2刷を発行する予定です。

今回は、文言等の修正や巻末の資料編のデータ更新のほか、改正個人情報保護法施行に併せ「個人情報の取扱いについて」を変更します。

なお、運用、配布時期等については、次回のマンスリーJMDP4月号にてお知らせします。

10 委嘱状発行のお知らせ <調整医師の方へ>

調整医師の委嘱については、2016年度より自動更新となりましたが、2018年度も手続きが必要で更新書類をご返送いただいた先生方には、3月より順次、委嘱状をお送りしています。

まだ更新書類をご返送いただいていない方は、お早めに返送をお願いします。

なお、異動先で引き続きご協力いただける先生方には異動後に手続き書類を郵送します。